

II 事例研究

1 地域のネットワークでつくる活動事例

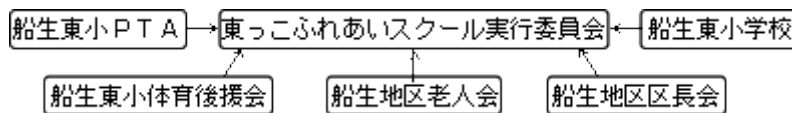
子どもの居場所は、地域におまかせ ～東っ子ふれあいスクール実行委員会の活動～

地域の人々が、自分のできる範囲でボランティアとして参画し、塩谷町立船生東小学校の児童を対象に、異年齢集団による遊びの場（居場所）を提供する取組
関わっている人＜小学生、青年、成人＞

☆活動名 東っ子ふれあいスクール

【活動の趣旨】 小学校の校庭や余裕教室を利用し、毎週水曜日の放課後に子どもたちが自主的で自由な遊びをすることができる場（居場所）を提供している。また、そこで子どもと子ども、子どもと大人の交流をとおり、ふれあい学習の推進を図っている。

【共催、連携】 共催は塩谷町、塩谷町教育委員会生涯学習課。さらに、船生東小学校区で活動している団体と手をつないでいる。



【対象・人数・条件】 塩谷町立船生東小学校児童の希望者48名、地域住民のボランティア14名

【始めるきっかけ】 平成15年度に、塩谷教育事務所の「家庭と地域の教育力活性化事業」としてスタート。地域の大人が実行委員会を組織してボランティアを募集し、水曜日の放課後、船生東小学校の余裕教室等を借りて、子どもたちに自主的で自由な遊びをすることができる場を提供した。平成16年度は、この事業を地域のボランティアが中心になり継続し、子どもと子ども、子どもと大人の交流を推進している。

【広報のしかた】 参加者児童 → 学校を通じてチラシを配布
ボランティア → 回覧板で船生東小学区全戸へチラシを配布

【活動内容】 ①子どもたちの自由な活動
集まってきた子どもたちが自由遊びを選択し活動する。ボランティアは子どもたちの活動を見守っていたり、一緒に活動したりして交流を深める。

- ・室内 → 折り紙、紙工作、オセロ、トランプ、お絵かき、読書等
- ・校庭 → 一輪車、バドミントン、鬼ごっこ、キャッチボール、フリスビー等
- ・体育館 → ソフトバレーボール、のぼり綱、ドッジボール、かくれんぼ等

②ボランティアが企画して全員で実施する活動

ボランティアが活動の計画を立て、子どもも大人も一緒に活動し交流を深める。ボランティアは、指導者でもあり、子どもたちと一緒に活動する参加者でもある。

- ・かげ絵鑑賞会、敬老の日プレゼントづくり、クリスマスリースづくり等

③子どもたちが企画して全員で実施する活動

子どもたちが事前に活動の計画を立て、子どもも大人も一緒に活動し交流を深める。話し合いから、事前の準備、実施までボランティアが支援する。

・クリスマス会、卒業生を送る会等

【成果と課題】

子どもに自主的で自由な遊びをすることができる場（居場所）を提供することにより、子どもたちは様々な体験活動や交流活動を経験することができている。また、ボランティアとして参加している大人には、行政から自立して「地域の子どもは地域で育てよう」という気運が生まれてきている。さらに、学校を会場に実施していることにより、学校が地域にとってより身近な存在となってきている。

課題としては、子どもたちの体験活動や交流活動がさらに広がるように、ボランティアを増やしていくことが挙げられる。

☆これから始める人へのメッセージ

無理せずに、みんなで協力し、地域の子どもは、地域で育てよう！

東っ子ふれあいスクール

代表者 齋藤 治秀

所在地 〒329-2441

塩谷町船生 933 番地 2 塩谷町立船生東小学校内

電話/FAX 0287-47-0138/0287-47-1282

E-mail esfunyuh@town.shioya.tochigi.jp

